研修名　　保健衛生・安全対策（北部）
令和元年１１月２６日（火）１３：００～１６：００
講　演　「教育・保育施設における感染症対策と
血液を介して感染する病気の防止」
講　師　　社会福祉法人済生会
大阪府済生会　中津病院　臨床教育部
部　長　　安井　良則　氏

１　講演要旨

・「感染症」とは、ヒトに対して病原性をもったウィルスや細菌、真菌等の『「病原微生物」がヒトの体内に侵入して増殖した状態』である。
・「感染症」とは、病原微生物がヒトの体内に侵入して増殖し、それによってヒトに有害な影響を及ぼすかまたは、ヒトの生体の防御反応が起こりヒトに対して好ましくない反応が引き起こされた状態、すなわち発症した状態である。
・『感染』＝『感染症』ではない。

〈飛沫感染〉

・主な感染症⇒感冒・風疹（☆）・マイコプラズマ・インフルエンザ（☆）・流行性耳下腺炎（☆）・SARS（☆）・百日咳（☆）・溶連菌（☆）・手足口病　　（☆）は接触感染もあり
・飛沫のうち直径が 0.1～0.2㎜ 以上のものは床に落ちるが、床に落ちる前にこの飛沫を浴び、吸い込むことによって起こる感染を飛沫感染とよぶ。

〈接触感染〉

・主な感染症⇒咽頭結膜熱・MRSA・セラチア・ヘルパンギーナ（○）
（○）は飛沫感染もあり
・接触感染とは、接触することによって生じる感染経路を指す。接触には握手、抱きつくなどの直接接触とドアの把手、階段の手すり、エレベーターのボタンを介した間接接触がある。

〈空気（飛沫核）感染〉

・主な感染症⇒麻しん（はしか）（○・☆）・水ぼうそう（○・☆）結核
・飛沫核を吸い込むことによって起こる感染を空気（飛沫核）感染と呼び感染範囲は感染源の存在する部屋全体に及ぶ。

〈経口感染〉

・主な感染症⇒ロタウィルス感染症（○・☆）・ノロウィルス（○・☆）
腸管出血性大腸菌感染症（☆）・サルモネラ（☆）・
カンピロバクター・赤痢（☆）・（ポリオ☆）

・食物や水分の経口摂取が原因となって病原微生物が消化管に到達し感染する。

2　感　想

感染症にもたくさんの種類、たくさんの感染方法、それぞれに合った予防の仕方などがあり、それらをきちんと知り理解したうえで保育園と言う集団生活をする場所で働く者として、子ども達をそれらの感染症から守る為に、私達ができることをしっかり行い、保育園全体で話し合い拡大を最小限にできるようにしていきたいと思った。

保育者が子ども達にうつすことも少なくないということで、保育者から手洗い・咳エチケットなど徹底していきたい。

（記録　　中六人部保育園　谷　智世）